

2024年8月28日

# 個人投資家様向け 会社説明会

高松機械工業株式会社  
(証券コード：6155)

**TAKAMAZ**



# 目次

1

会社概要

2

当社の強み

3

企業体質強化に向けて

4

株主還元

(参考資料)

当資料は、作成時点において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的に判断した一定の前提に基づいております。経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性がありますので、ご承知おきいただきますようお願いいたします。

1

# 会社概要



# ■ 会社概要

お客様に最適な自動化生産ラインを提供する  
工作機械メーカー **TAKAMAZ**

代表取締役社長

高松 宗一郎



連結売上高

**141**億円  
(2023年度実績)

本社所在地

石川県  
白山市

創業

**1948**年  
(創業76年)

連結従業員数

**565**名  
(2024年6月末現在)

株式

東証スタンダード  
(証券コード：6155)

営業拠点

国内 **9**拠点  
海外 **7**拠点  
(2024年6月末現在)

# 会社概要

## 沿革

■ 1948

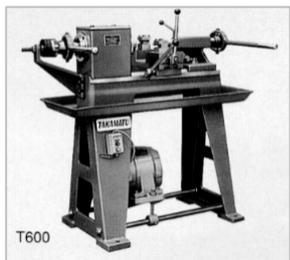
初代社長  
高松喜一が個人創業



高松鉄工所創業

■ 1960

工作機械分野に進出



面取旋盤T600

■ 1961

高松機械工業株式会社  
を設立



■ 1985

現在地に本社工場移転

■ 2001

店頭登録市場  
に上場

自動車部品分野  
に進出

■ 2002

I T 関連分野  
に進出

■ 2006

東証二部に上場



■ 2018

高松宗一郎  
社長就任

■ 2023

環境分野に進出



AI・B-sort

■ 2022

あさひ工場新設



当社のフラッグシップ・ファクトリー

東証スタンダード市場  
に移行

# 事業内容

## 工作機械事業

126億18百万円

### 事業内容

- CNC旋盤、周辺装置の製造、販売、サービス・メンテナンス



- コレットチャックの製造、販売



### 生産拠点

本社工場

あさひ工場



他 第2工場、第4工場

## I T 関連製造

## 装置事業

12億83百万円

### 事業内容

液晶基板や半導体などに関する製造装置の製造

### 生産拠点

開発センター



89%

2023年度  
連結売上高  
141億円

9%

2%

## 自動車部品

## 加工事業

2億82百万円

### 事業内容

自社製旋盤による  
自動車部品の加工

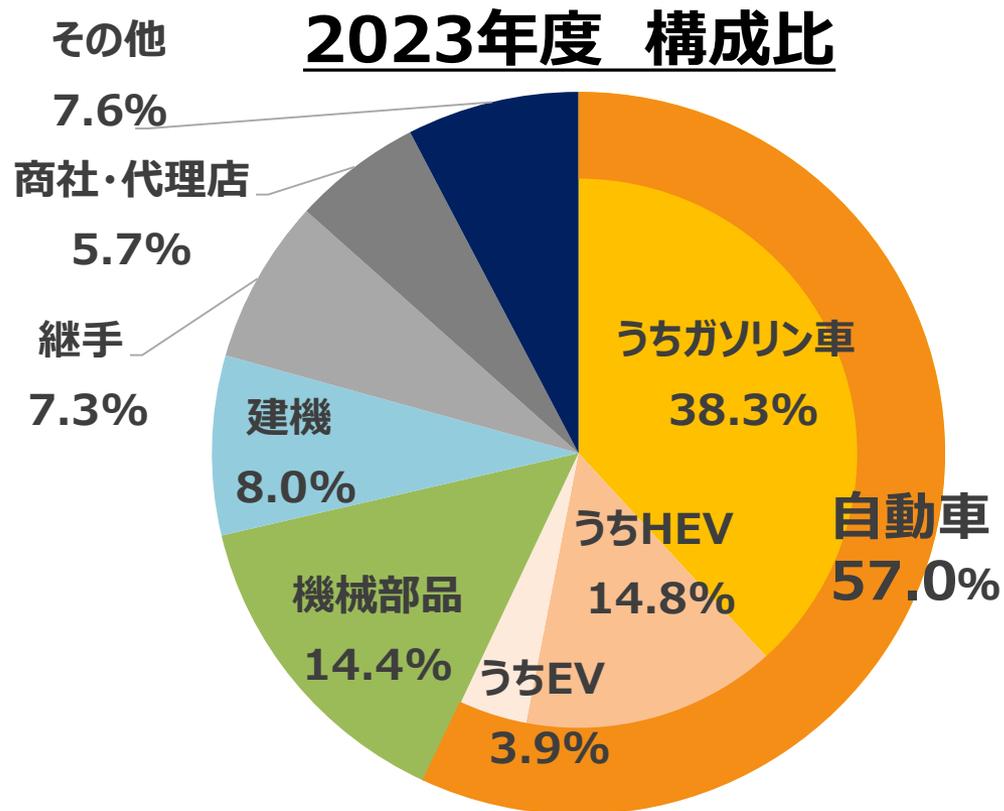


### 生産拠点

第3工場



# 業種別受注先の状況（工作機械）

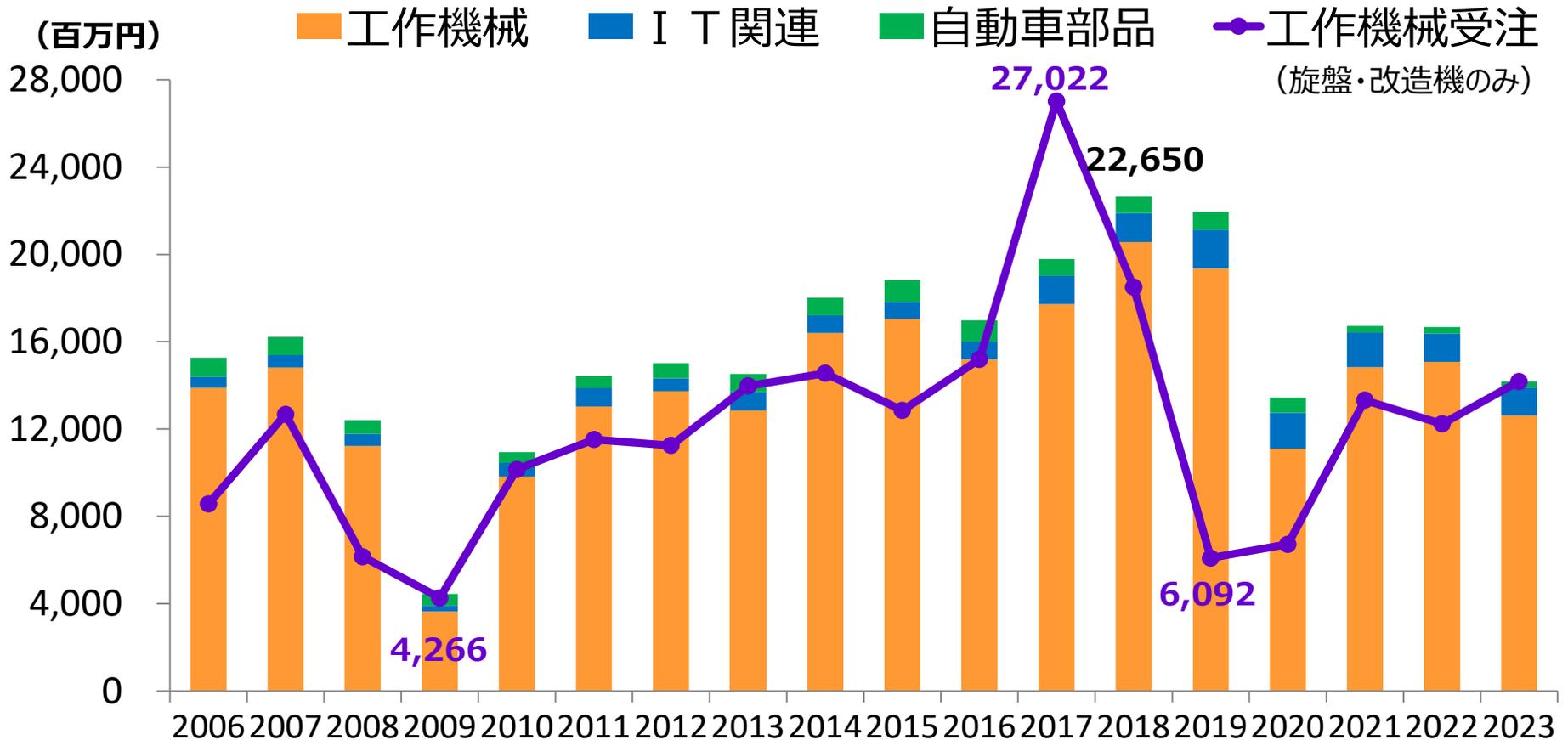


(注) 受注高は、旋盤・改造機に限定しています。

### 当社製品をご使用いただいているお客様

自動車業界	・ TOYOTA	・ HONDA	・ 日産
	・ デンソー	・ ジェイテクト	・ ジヤトコ 他
自動車業界以外	・ クボタ	・ 三菱マテリアル	・ 象印マホービングループ 他

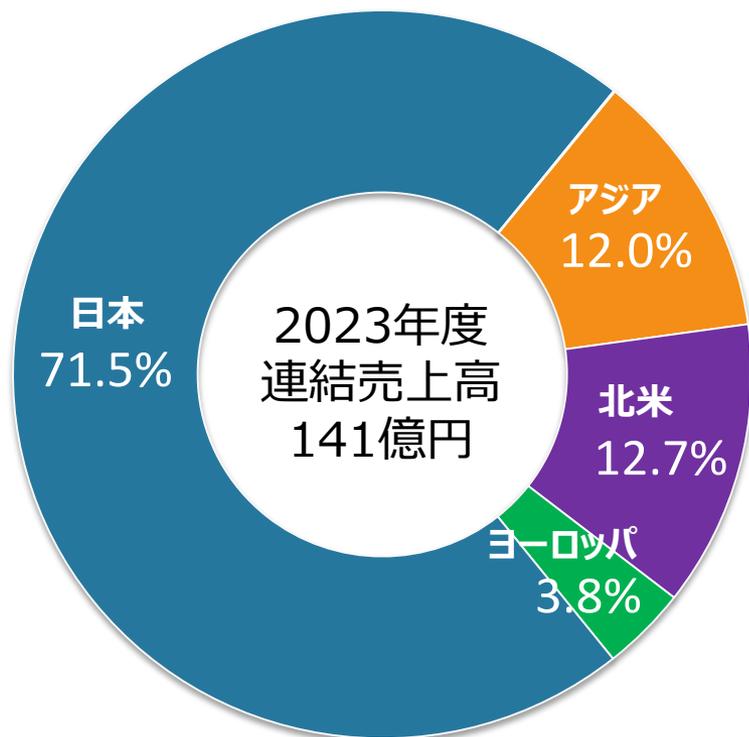
# ■ 連結売上高・工作機械受注高の推移



- 2009年度：リーマンショック、2019年度：米中貿易摩擦、新型コロナ
- 2017年度は**過去最高受注高**、2018年度は**過去最高売上高**を達成
- 2022年度にあさひ工場が稼働開始し、生産能力が拡大

# グローバル展開

## 仕向地別連結売上高



### アジア

タイ 5.6%  
中国 2.4%  
インドネシア 1.4% 等

### 北米

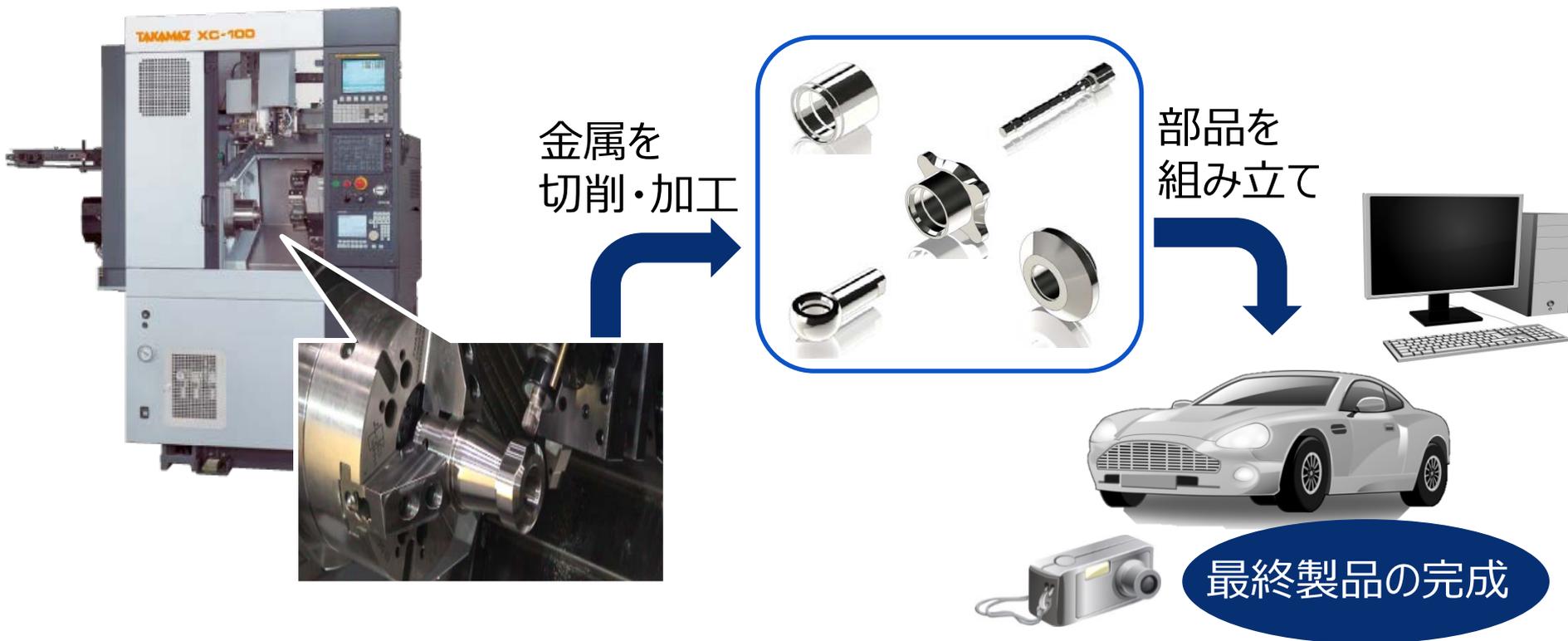
アメリカ 11.1%  
メキシコ 1.6%

### ヨーロッパ

ドイツ 0.8%  
イタリア 0.9% 等

- 約 7 割が日本国内向け
- 海外売上はアメリカ・タイ・中国が中心
- 今後、需要の伸びしろの大きい海外市場での販売を強化

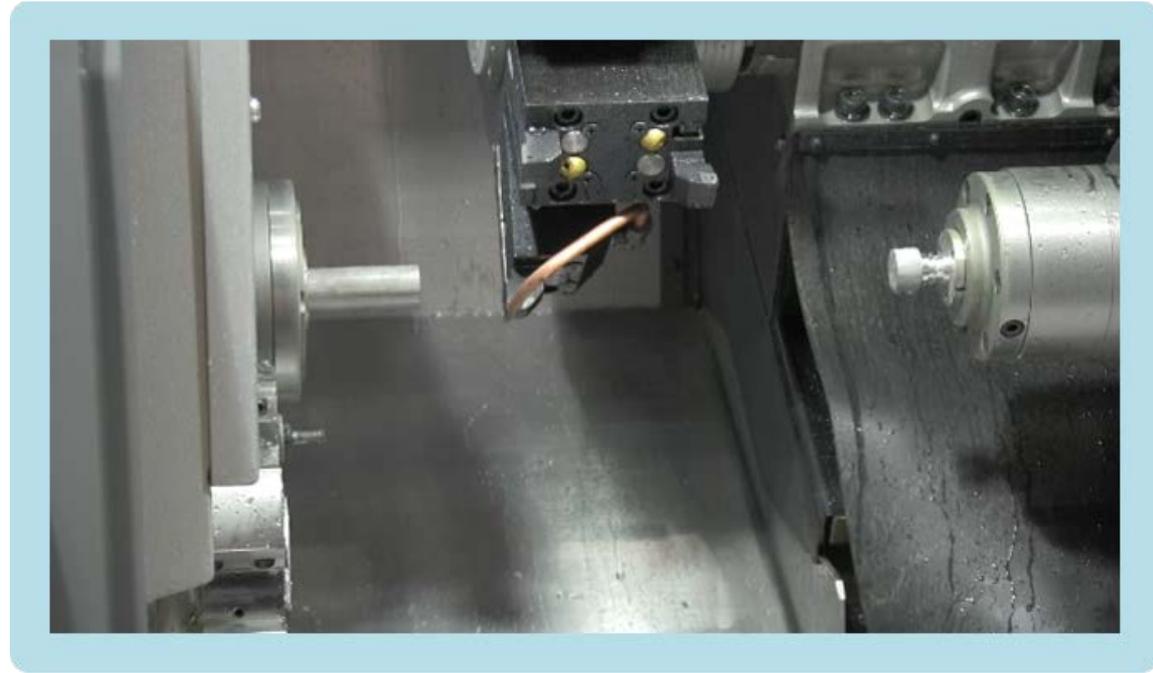
# ■ 工作機械とは



## 工作機械とは？

金属を所定の形や大きさに加工し、様々な製品の部品を作る機械。工作機械そのものも工作機械によって作られているため、「機械を作る機械」、あるいは「マザーマシン」と言われている。

# CNC旋盤とは



## CNC旋盤とは？

旋盤とは、加工物を回転させ、刃物で切削加工を行う工作機械の一種。

CNC旋盤は、旋盤の中でも、部品加工をコンピュータによって制御し、自動で加工する仕組みを搭載している機械のこと。

# 生活を支える当社の技術

当社の製品により加工された部品は様々な製品や、生活を支えるものに利用されています

## 自動車関係

- ギヤ関連部品
- モーター部品
- 足回り部品



- EV・HEV用部品



## 建築資材関係

- コンプレッサー部品
- エレベータードア部品
- ドアノブ部品
- 照明器具部品



## 配管・継手関係

- 水栓部品



- ガス機器部品
- 消火用配管部品
- 水道メーター用部品

- 消雪ノズル部品



## その他

- 建設機械部品



- 航空機部品



- バイク・電動自転車・自転車部品



# 競合状況

## 主な競合他社

オークマ、FUJ I、ツガミ、村田機械、TAK I SAWA 等

## 業界に占めるシェア

### 売上 ※2023年度実績

#### 工作機械業界全体

シェア**0.7%**

業界…1兆4,531億円  
当社…108億円

#### 旋盤のみ

シェア**2.2%**

業界…4,994億円  
当社…108億円

### (参考) 生産台数 ※2023年度実績

#### 工作機械業界全体

シェア**1.4%**

業界…54,102台  
当社…749台

#### 旋盤のみ

シェア**5.7%**

業界…13,031台  
当社…749台

2

## 当社の強み



# ■ 高い技術力でお客様のニーズに対応

《お客様を取り巻く環境》

人手不足・人件費高騰

カーボンニュートラル

SDGs

DX、IoT

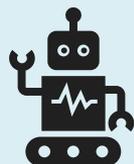
EV・HEV

現代のニーズに応える工作機械製品が求められる

**TAKAMAZ** の強み

## 自動化技術

自在なカスタマイズ性  
人手不足・人件費高騰に対応



## 製品開発力

EV化等の新しいニーズに対応



## 省エネ製品

カーボンニュートラル・  
SDGs達成に寄与



➡ お客様のニーズに対応することで  
**高いリピート率**を実現

# ■ 強み① 自動化技術

## 豊富なノウハウと自動化装置群

- 早くから自動化に取り組み、実績を積み上げ
- 自動化技術を組み合わせ、お客様に最適の生産ラインを提供

## 設計～製造まで一貫した生産体制

- 自動化装置・システムを自社で開発



当社CNC旋盤

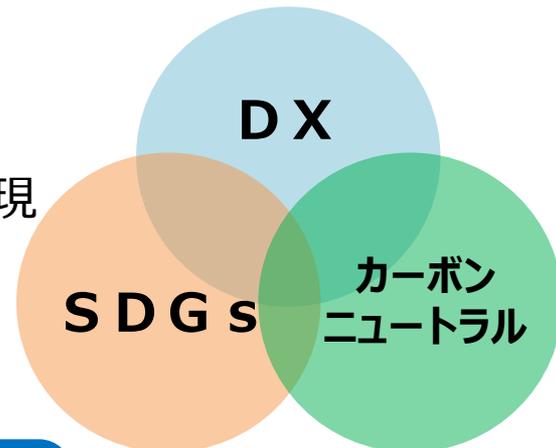


自動化装置群

# ■ 強み② 製品開発力

## お客様のニーズに応える製品開発

- ✓ 小型ながらも高精度・高品質を維持しつつ生産性の向上を実現
- ✓ 「DX」「SDGs」「カーボンニュートラル」の3つのキーワードをもとに製品を開発



## 需要が高まる次世代自動車（EV等）にも対応

脱炭素化の方向へと世界の流れが加速

自動車業界ではEV化への動きが顕著に

- ✓ EVに対応可能な製品の開発
- ✓ EVだけでなく従来の加工も可能かつ、SDGsやカーボンニュートラルにも対応できる高付加価値製品を提供



EV市場開拓に繋げる戦略機  
XTL-8シリーズ

# ■ 強み③ 省エネ・省スペース製品

## カーボンニュートラル実現・SDGs達成に寄与する新製品

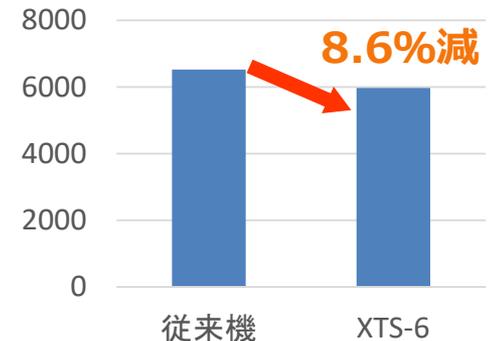
### XTS-6

#### 業界最小のコンパクト性

- ✓ 業界クラス最小のフロアスペース達成
- ✓ 安定した加工精度により高い生産性を実現
- ✓ CO<sub>2</sub>排出量年間**245kg-CO<sub>2</sub>削減**（従来機比較）



#### 消費電力量削減



### XWG-3

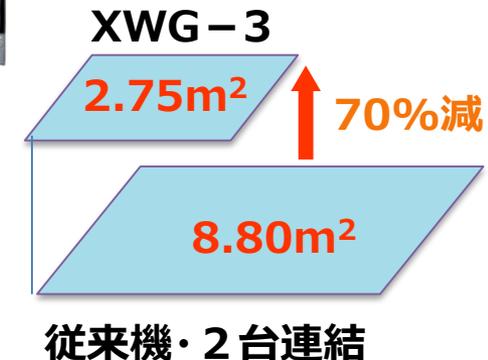
機械工業デザイン賞  
「日本デザイン学会賞」受賞

#### カーボンニュートラルに貢献

- ✓ 排熱として放出していた**電気エネルギー**を装置の電源として**再利用**できる電源回生方式の採用により省エネ効果アップ
- ✓ 動作高速化**+33%**（従来機比較）による時間短縮・省エネ効果
- ✓ 1台に工程集約することで、フロアスペースの削減を実現



#### フロアスペース削減



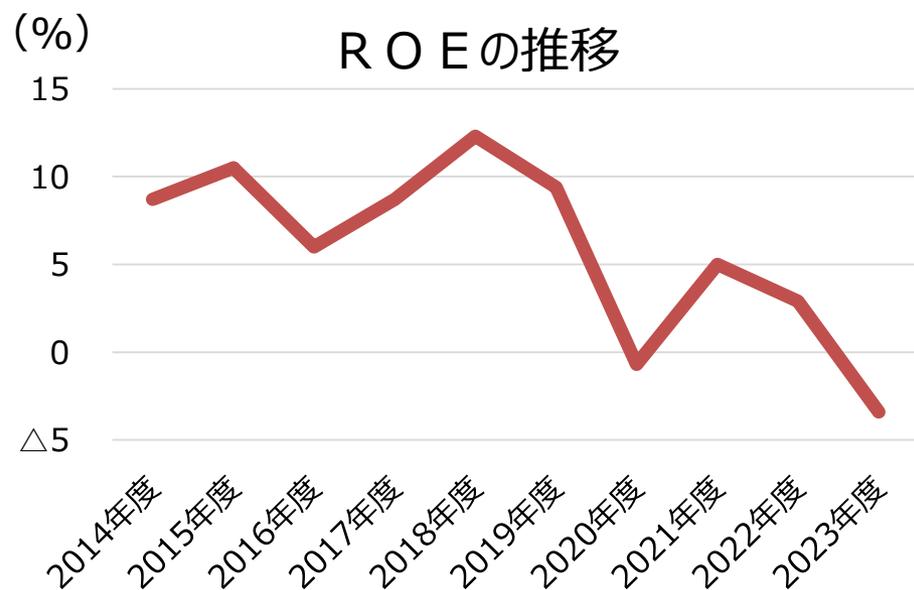
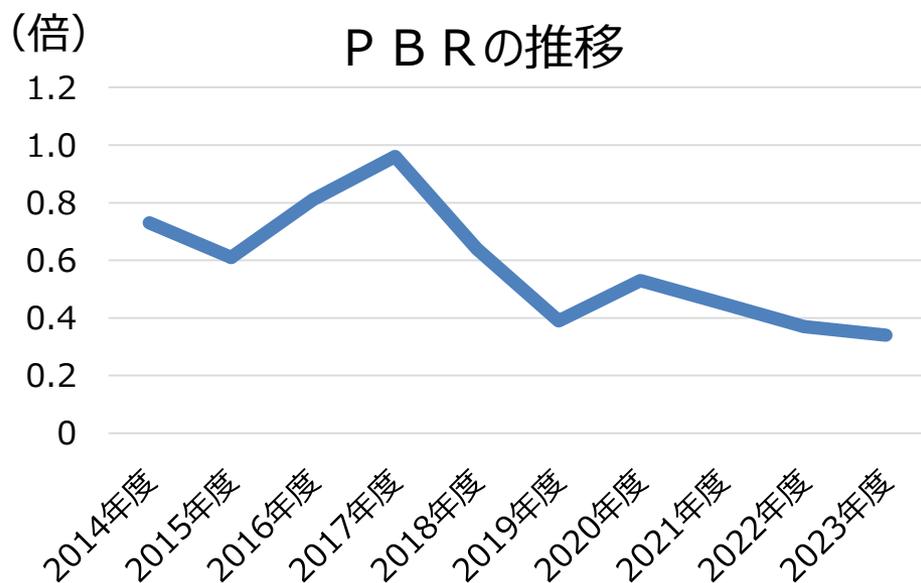
3

# 企業体質 強化に向けて



# ■ 現状分析

- 主要受注先である自動車業界において、工作機械需要の回復が遅れていることから、当社の売上高や利益が低調に推移
- P B Rは1倍を下回って推移しており、企業体質強化に向けて取り組む
- 株主資本コストを上回るR O E確保のため、資本収益性向上、認知度の向上に取り組む



# ■ 企業体質強化に向けて

## 1. EV市場の受注拡大！新製品の投入！！

- 拡大するEV市場を狙う新製品「X T L - 8シリーズ」

## 2. 新市場への進出！新製品の投入！！

- リサイクル業界の課題を解決に導く新製品「A I ・ B - s o r t」

## 3. 未来プロジェクト始動！

- 創業90周年（2038年）に向けてチェンジ！チャレンジ！

## 4. サステナビリティの実現！

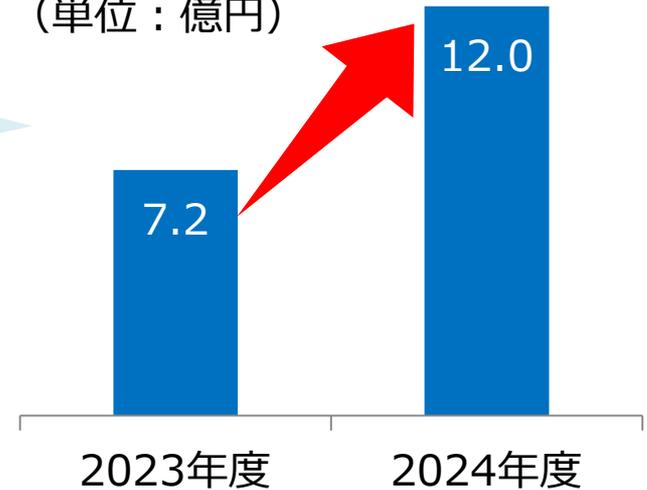
- 企業理念「T A K A M A Zは社会に貢献する」の実現

# 1. E V市場の受注拡大！新製品の投入！

## 需要拡大が見込まれる、E V関連部品向け受注額 (BEV、HEV、FCV含む)

約 **70%** 増加を目指す  
※国内受注

(単位：億円)



XTL-8シリーズ

- ✓ E V関連部品に対応できるシャフト加工をターゲットとした製品
- ✓ 作業効率を向上させる各種オプション
- ✓ 省エネ機能によるカーボンニュートラル貢献

# 2. 新市場への進出！新製品の投入！！

## リサイクル業界の課題を解決に導く新製品

資源ごみA I 自動選別機  
**A I・B-s o r t**

### 資源ごみA I 自動選別機とは

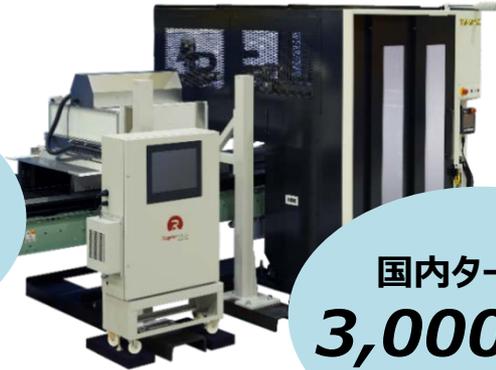
- ✓ びんの色選別を自動化する機械
- ✓ リサイクル業界の人手不足を解消
- ✓ 株式会社P F Uと当社の技術を融合

市場規模

**130**億円  
※2035年

国内ターゲット

**3,000**施設以上



### びんの色選別の流れ

1

株式会社P F Uのシステムにより、びんの特徴（色・形）を認識



2

当社のロボットを利用した自動化システムが、認識されたびんをピックアップし選別



こちらから動画をご覧ください

# 3. 未来プロジェクト始動！

## 主なプロジェクト内容

ゴール

社員のやりがい・働きがいアップ

筋肉質かつサステナブルな  
経営基盤の確立

明確な  
会社目標設定

未来  
プロジェクト

収益性分析の  
強化

見直しルールに  
基づく事業再構築

既存戦略の  
見直し

## 資本収益性向上の取組み実績

- ➔ **投資計画策定**
  - ✓ 精密組立室の拡大・移設
  - ✓ 新型マシニングセンタの導入
- ➔ **新規事業推進**
  - ✓ 資源ごみAI自動選別機の販売開始
- ➔ **資本収益性改善**
  - ✓ K P I 管理体制の強化
- ➔ **財務の健全性管理**
  - ✓ 不採算事業の閉鎖
  - ✓ 杭州友嘉高松機械有限公司（中国）  
棚卸評価損計上
  - ✓ 自動車部品加工事業減損損失計上

【中期経営計画2027】へ

# 4. サステナビリティの実現

## ●カーボンニュートラル実現に向けた取り組みの推進

### 太陽光発電設備導入



### プレクール/プレヒートシステム導入



## ●社員エンゲージメント向上に向けた取り組みの推進

### 健康経営優良法人2024 (大規模法人部門) 認定



健康経営優良法人  
Health and productivity

### 金沢城リレーマラソンへの 参加



### タカマツアワード (社内表彰制度) の開催



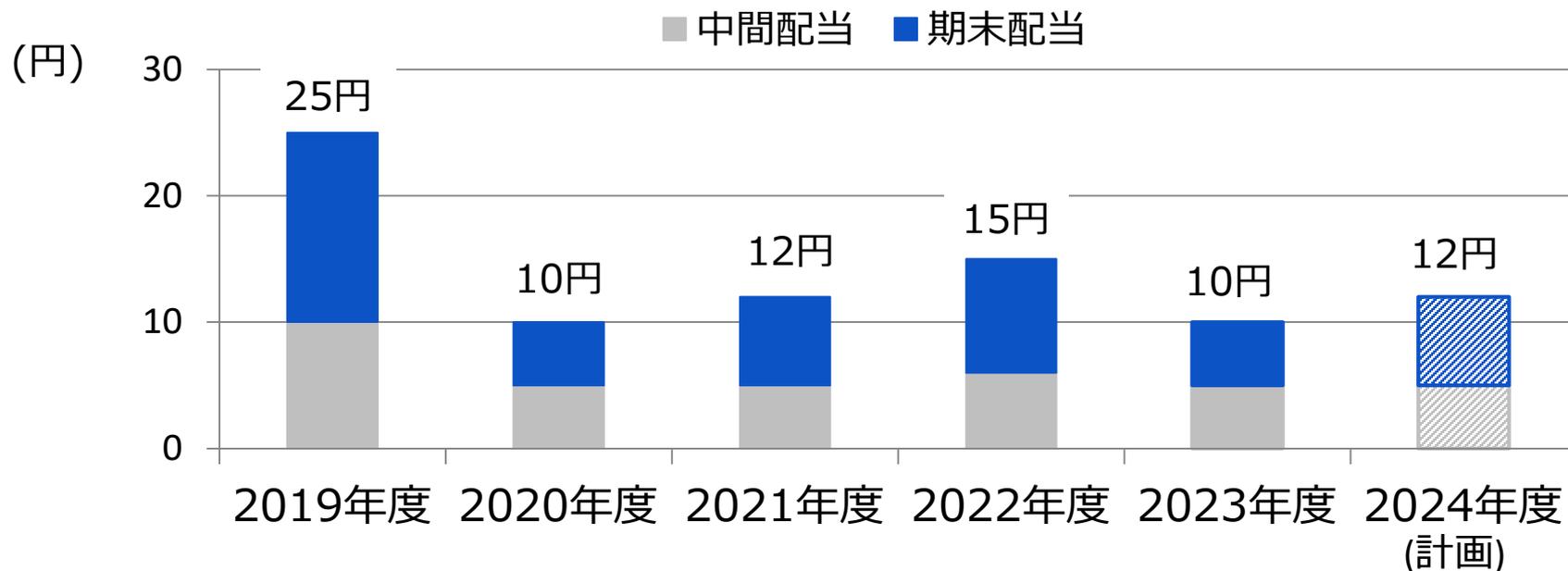
4

# 株主還元



# 株主還元

## 配当金



## 配当性向

年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (計画)
配当性向	19.1%	—	16.4%	33.2%	—	76.2%

※ 2020年度及び2023年度においては、親会社株主に帰属する当期純利益がマイナスのため、配当性向を表示しておりません。

(参考資料)

---

# (参考) 2024年度計画

(単位：百万円)

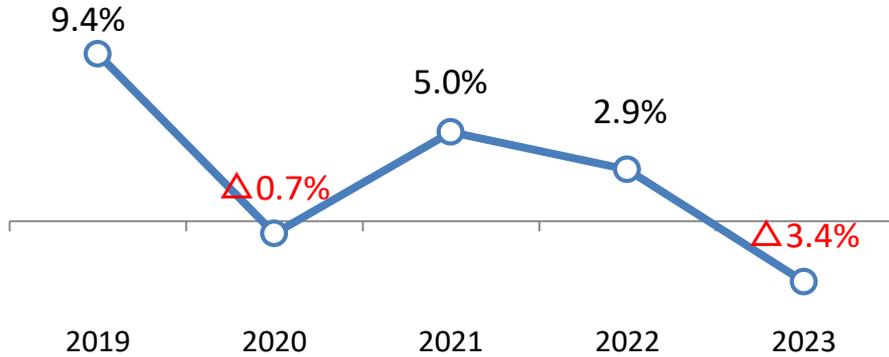
	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度予想	
			見込み	対前期比
受注高	16,069	14,452	<b>17,410</b>	<b>+20.5%</b>
売上高	16,675	14,184	<b>16,436</b>	<b>+15.9%</b>
工作機械事業	15,074	12,618	<b>14,840</b>	<b>+17.6%</b>
I T 関連製造装置事業	1,304	1,283	<b>1,400</b>	<b>+9.0%</b>
自動車部品加工事業	296	282	<b>196</b>	<b>△30.6%</b>
営業利益	516	△386	<b>474</b>	—
営業利益率	3.1%	△2.7%	<b>2.9%</b>	—
経常利益	619	△608	<b>336</b>	—
親会社株主に帰属する当期純利益	489	△565	<b>169</b>	—
1株当たり当期純利益（円）	45.21	△52.26	<b>15.74</b>	—

※ 受注高は工作機械事業及び I T 関連製造装置事業の受注高の合計です。  
 工作機械事業の受注高は、旋盤・改造機、部品等の合計です。

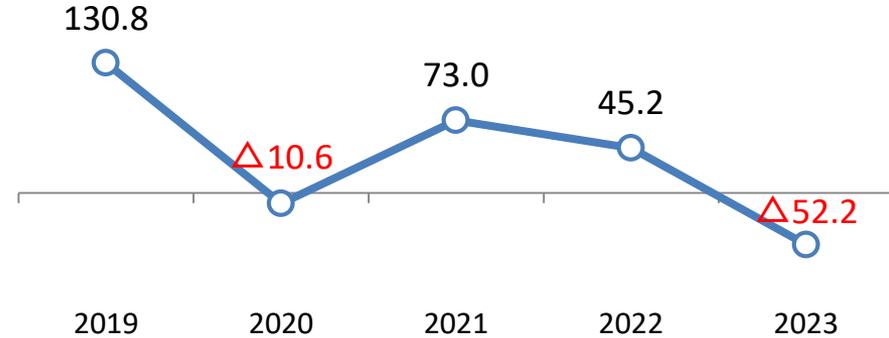
- ✓ 自動車業界の設備投資遅れが継続した影響が大きく、7/31に第2四半期業績予想を修正
- ✓ 通期業績予想は、先行きが不透明な状況の中、今後の工作機械需要動向を注視し、下期業績への影響を見極める必要があるため、未修正

# (参考) 各種指標

## ROE

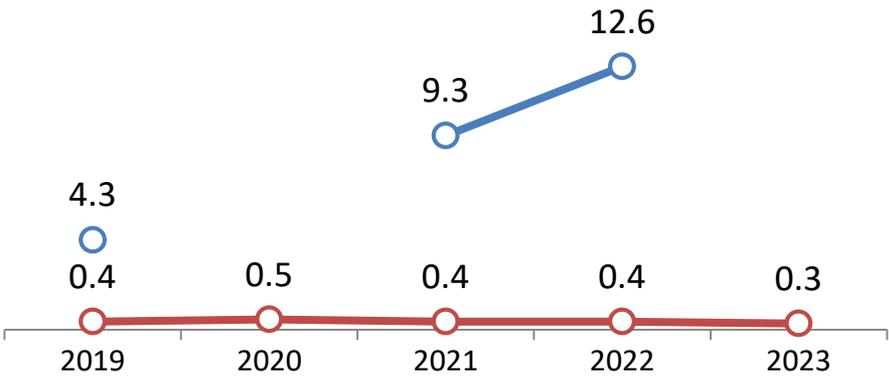


## 1株当たり当期純利益 (単位：円)



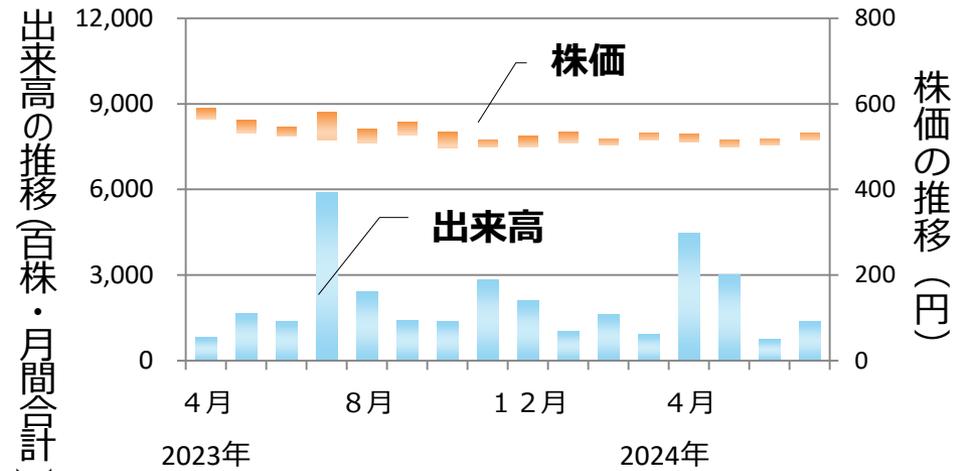
## PBR、PER (単位：倍)

○ PBR ○ PER



※ 2020年度および2023年度のPERは、親会社株主に帰属する当期純損失であるため記載しておりません。

## 株価、出来高



# 投資家・株主の皆様への情報発信

## HP

TAKAMAZ

検索



<https://www.takamaz.co.jp/>

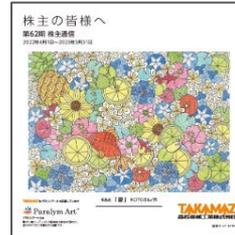
### ● トップページ



### ● 株主・投資家情報ページ



## 刊行物



### 株主通信

### 決算説明会資料

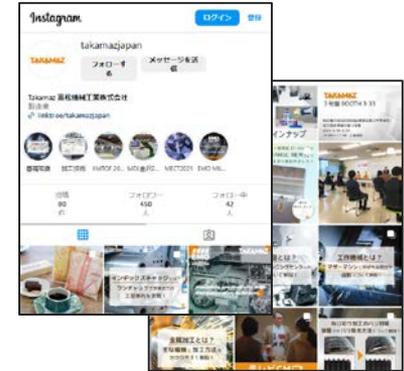


### サステナビリティレポート

### ORANGE NEWS



## SNS



# TAKAMAZ

<https://www.takamaz.co.jp>

